

西条市就労準備支援事業



社会にふみ出す一步をサポート

家から出るのが怖い！

働く自信がない

生活習慣から変えたい

就職活動がうまくいかない

仕事が長続きしない

生活が苦しい

コミュニケーションが苦手

自分にむいている仕事わからない

お困りの方は
お気軽にご連絡ください
〈秘密厳守いたします〉



西条市就労準備支援センター

(運営団体：特定非営利活動法人 eワーク愛媛)

■西条市就労準備支援事業

本事業は、就労に必要な実践的な知識・技能等が不足しているだけでなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で就労に向けた準備が整っていない生活困窮者及び被保護者に対して、一般就労に向けた準備としての基礎能力の形成からの支援を、計画的かつ一貫して実施することを目的としています。

特に長期無業状態の方（ひきこもりやニート状態の方）や就職活動の経験だけでなく社会生活の経験が不足している方等、就職活動を行うためのスモールステップアップが必要な方を対象とし、生活リズムの適正化や社会人としての知識・経験の習得等を目的に研修・訓練プログラムを提供する支援を行います。事業内容の詳細は以下のとおりです。

■事業内容

■(1) 通所型・宿泊型自立支援プログラム

この訓練では、社会に出るための一般的な知識を身に付け、行動できるようになるための日常生活訓練、社会生活自立訓練、就労自立訓練に分けてカリキュラムを組み、支援対象者の状況や歩幅に合わせて、資料1のとおりステップアップ型で訓練を進めています。

資料1 ステージごとの訓練概要

1st ステージ 日常生活自立訓練	
①時間の使い方訓練（自由時間、作業・仕事の時間）	②生活習慣訓練（起床・就寝のサイクル定着、食事時間の一定化）
③ハウスワーク訓練（4S、洗濯、食事準備、風呂準備、買い物など）	④農作業体験（土いじり、収穫手伝い、草引きなど）
⑤自分の時間を使う訓練（野外活動、仲間との遊び、自然散策、趣味など）	⑥ミーティング参加（発言、傾聴、気配り、フォロー、メモなど）
⑦イベント参加（地元秋祭り、夏祭り、春祭りなど見学）	⑧芸術活動体験（スケッチ、水彩画、油絵、陶芸など）
⑨スポーツ体験（トレッキング、登山、ソフトボール、サイクリングなど）	⑩食品製造体験（手作り豆腐・竹輪、薫製、手打ちうどん指導など）
2nd ステージ 社会生活自立訓練	
①就農訓練（土づくりから、栽培体験など）	②職場見学（地元製造工場、サービス業、食品加工業、飲食業など）
③ボランティア活動（地域行事、地域清掃、海浜清掃など）	④職業理解、自己理解
⑤福祉事業体験（高齢者施設の話し相手、環境整備などの手伝いなど）	⑥こども食堂体験（メニュー作成、調理・商品開発、店舗運営など）
⑦フードバンク活動体験（食品仕分、食品管理など）	⑧イベント体験（模擬店、チラシ配り、準備・片付け・撤収など）
3rd ステージ 就労自立訓練	
①就労訓練（中間的就労、模擬就労）への誘導	②就職活動訓練（履歴書・面接研修、求人情報の見方など）
③職場体験（製造業、サービス業、販売業、施設管理、介護事業体験など）	④農業体験（農機具使用、加工体験、販売体験など）
⑤パソコン知識・技能	⑥一人暮らし体験（金銭感覚、自律的4S、自律的食生活など）
⑦自己分析・自己理解（強み発見、職業診断、キャリアアンケートなど）	⑧玉掛、クレーンなどの特別教育や資格取得への誘導 など

■(2) 訓練事例

① 日常生活訓練



農業体験



芸術活動体験



野外活動（バーベキュー、サイクリング）



地域事業（しめ縄づくり）

② 社会生活自立訓練



職場見学



イベント体験



③ 就労自立訓練



職場体験（鉄工所、プラント製造業等）



職場体験（選果場）



④ 宿泊型自立支援プログラムの1日のスケジュール

宿泊型自立支援プログラムは、まずはひきこもりやニート状態の若者が生活パターンを改善することを目的に実施します。ひきこもり状態の若者のほとんどは、生活パターンが不規則になっていたり、夜と昼の生活が逆になっていたり（誰にも会いたくないため、行動は夜になる）など、社会に馴染むために改善が必要な事例が多くなっています。

このため、朝起床し、朝食をとり、昼間は様々な活動を行い、活動により空腹になり適度な疲労があるため、夕食をとって入浴し、心地よくなり夜になると就寝するというパターンに馴染むことで、生活を夜型から昼型に変え、充実感を得られるようにすることが目的です。

⑤ 課題の度合いによる個別対応例

若者の状況に応じて、全員が同じカリキュラムで支援訓練を進めるのではなく、基本的な生活パターンは合わせ、訓練内容は個別に内容を変えながら進めていくようにしています。

資料2 宿泊型自立支援プログラム・1日のスケジュール（基本形）

時間	内容	備考
6:00	起床	自分で起きる
6:00~6:30	身支度	布団の片付け、歯磨き、洗顔など
6:30~7:30	食事当番：朝食準備、他は自由行動	食事当番は毎食交替（2~3名）
7:30~8:00	朝食	朝食（食べ残しをしない）
8:00~8:30	朝食片付け、共有・公共スペースの清掃	自分の食器は自分で洗う
8:30~9:00	ミーティング	
	①ラジオ体操	①全員で元気にラジオ体操
	②挨拶	②大きな声で挨拶
	③各人への日誌の返却	③日誌の返却（コメント、声掛け）
	④職場の教養輪読	④全員が声を出して輪読
	⑤改善点、問題点など	⑤改善提案を奨励、優良提案は表彰
9:00~11:00	午前の活動	
11:00~12:00	当番は昼食準備、他は自由行動。	
12:00~13:00	昼食、昼食の片付け	自分の食器は自分で洗う
13:00~16:00	午後の活動	
16:00~16:30	ミーティング	
	①挨拶	①大きな声で挨拶
	②改善点、問題点など	②改善提案の奨励、優良提案は表彰
	③日誌記入（各人のノート）	③1日1ページの日記
16:30~18:00	食事当番：夕食準備、他は自由行動	
18:00~18:30	夕食	夕食
18:30~19:00	食事当番：夕食片付け、他は自由行動	
19:00~21:00	入浴・自由行動・カウンセリング	
21:00~23:00	自由行動・カウンセリング	
23:00	消灯、就寝	



資料3 課題の度合いによる個別対応例

日程	課題の度合い	生活訓練の必要無し	生活訓練必要度合いが低い	生活訓練が必要	長期の生活訓練が必要	ポイント					
1日目	Step2 社会生活自立訓練 (通所)	生活訓練の必要無し	Step1 生活自立訓練	Step1 生活自立訓練	Step1 生活自立訓練	見立て期間					
2日目			Step2 社会生活自立訓練 (通所)	生活自立訓練 (通所)		Step1.1 生活自立訓練 (通所)	合宿の状況を確認しながら通所に移行していく				
3日目								Step3 社会生活自立訓練 (自主生活)	Step2 社会生活自立訓練 (通所)	Step1.1 生活自立訓練 (通所)	通所にて状況を確認しながら、ボランティア活動などへの移行を検討
4日目											
5日目	Step5 就職活動支援	Step3 社会生活自立訓練 (自主生活)	Step4 就労自立支援	Step3 社会生活自立訓練 (自主生活)	自主活動中も訪問観察を行い、中間的就労などへの移行を検討						
6日目						Step5 就職活動支援	Step4 就労自立支援	Step4 就労自立支援	Step4 就労自立支援	就職活動に即した講習参加や職場体験・中間的就労により状況を確認	
7日目											支援完了
8日目	支援完了	支援完了	Step5 就職活動支援	Step4 就労自立支援	就職活動に即した講習参加や職場体験・中間的就労により状況を確認						
9日目											
10日目											
11日目											
12日目	支援完了	支援完了	Step5 就職活動支援	Step4 就労自立支援	Step4 就労自立支援	就職活動に即した講習参加や職場体験・中間的就労により状況を確認					
13日目											
14日目											
15日目											
16日目	支援完了	支援完了	Step5 就職活動支援	Step4 就労自立支援	Step4 就労自立支援	就職活動に即した講習参加や職場体験・中間的就労により状況を確認					
17日目											
18日目											
19日目											
20日目	支援完了	支援完了	Step5 就職活動支援	Step4 就労自立支援	Step4 就労自立支援	就職活動に即した講習参加や職場体験・中間的就労により状況を確認					
21日目											
22日目											
23日目											

■実支援内容

被支援者の社会的つながり構築と維持を目的に、次の事業を実施しています。

■(1) 相談支援

長期無業やひきこもり状態など、困難を抱えている方たちご本人や保護者など関係者の方からのご相談を受け付けます。相談により、その方に合った当方の支援プログラムを共に考えて行きます。状況によっては、生活困窮者自立支援や地域若者サポートステーションなどの連携機関につながります。

■(2) アウトリーチ支援

ひきこもり状態の方に対しては、当事者や関係者の要望に応じ、自宅に出向いて対応しています。近年、中高年者からの依頼が増加傾向にあり、支援できずに高齢化する現状を感じています。ひきこもりになって早い段階でのご相談をお勧めしています。

■(3) 居場所提供

就労準備支援センターは、相談や訓練の場でもありますが、居場所としての活用も行っています。読書や息抜きの場所としてお使いいただいています。

■(4) 生活訓練（通所・宿泊型）

宿泊型自立支援の施設を整備し、宿泊型支援ができる施設を準備しています。共同生活しながら生活のリズムを整えたり、適正な生活パターンや自立して生活する方法を身に着けます。

■(5) 社会見学・体験提供

社会見学・体験および、模擬的就労の提供を行っています。就労体験や模擬就労は、支援が必要な方に、自信を持ってもらい、就業へのきっかけづくりに効果があります。

■(6) 食料支援併用の自立支援

当団体が実施しているフードバンク事業に提供された食料を活用して、食料支援を併用した自立支援を実施しています。

西条市就労準備支援センター内にコミュニティパントリー（無料のフードマーケット）を設置し、生活面での支援ができるようにしています。食べることの不安を少しでも解消し、自立に向けた支援に参加しやすくなるよう、見守りの継続や側面的支援を進めています。

■(7) 宿泊型自立支援

宿泊型で自立支援を行える施設は、県内2ヶ所に整備しています。プログラムに参加する方の希望や状況に応じて、施設を活用しています。宿泊型支援は、3人以上の希望者、支援必要者がそろった時点で開始しています。

■宿泊型訓練施設概要

①新居浜市大島（生活困窮者就労準備支援事業拠点）

新居浜市の沖、約1.5kmにある大島は、若者自立塾事業第4期から合宿型自立支援で活用している場所です。島特産の白いも（七福いも）やみかんの生産の手伝い、ボランティア活動、お祭りの準備・参加を通じた島の人たちとのふれあいにより、徐々に社会に馴染む訓練ができます。



入江の鳥瞰



合宿所外観



白いも栽培



釣り体験



消防訓練参加

②新居浜市上泉町

新居浜市の国道11号線沿いにある施設です。JR新居浜駅から約1.5km、徒歩25分の距離にあります。個室の宿泊施設、共同キッチン、座学教室を備えています。近くのこども食堂のボランティア参加や市内企業の職場見学にもアクセスが便利です。



施設外観



宿泊室



共同キッチン



座学用教室



こども食堂ボランティア

■愛媛県内の困難を抱える若者の状況について

愛媛県が平成30年12年に発表した調査結果によりますと、県内で確認されたひきこもり状態の人は1,000人（令和2年4月愛媛県人口中0.07%）という状況でした。この人数は、民生委員等が確認できた数値であり、まだ隠れたひきこもり状態の方が居ることが予想できます。

一方、平成29年度政府が行った就業構造基本調査に基づき、愛媛県が出した県内の15歳から34歳までのニートの人数推計値は6,400人（年代別人口比率2.70%）となっています。

また、厚生労働省が平成31年3月に発表した「子ども若者白書」によると、15歳から39歳までの年齢層のひきこもりは541,000人、40歳から64歳までの年齢層のひきこもりは613,000人となっています。

これらの数値をもとに、愛媛県内のニート、ひきこもりの人数の推計を試みました。

この推計によると、愛媛県内のニートの想定人数は、15歳から39歳までが7,717人（40歳から64歳まで10,621人、計18,338人）、ひきこもりの想定人数は、15歳から39歳までが4,487人（40歳から64歳まで6,176人、計10,663人）となりました。

この結果から、県内の確認されたひきこもり1,000人に対し、確認されていないひきこもりの人数を含めた想定人数は10倍近い数値になり、約90%（15歳から39歳までで4,000人以上）のひきこもり状態の人は、周りに気付かれることなく、支援を受けることができていないことが考えられます。

また、ニート状態の15歳から39歳の若者は、ひきこもり状態の若者も含めて7,000人以上いることが推計され、多くの困難を抱える若者が支援を受けることができないまま過ごしていることが予想されます。

このことから、西条市内にも、まだ支援が届いていないひきこもりや長期無業状態の方たちがいることが想定されます。

資料3 ひきこもり人数全国人口比率

No.	年齢層	全国ひきこもり人数 (人) ①	全国人口 (人) ②	ひきこもり 人口比率 ①/②
1	15～39歳	541,000	31,376,871	③ 1.57%
2	40～64歳	613,000	41,545,893	④ 1.45%
	計	1,154,000	72,922,764	1.58%

※政府推計 2019/3/29 発表をもとに作成 (2023/2/17)

※⑤=④/③・・・年齢差による人口比率 92.36%で低下

資料4 ひきこもり人数推計値

No.	項目	発表時期等	愛媛県内 人数 (人)	人口比率
①	確認されたひきこもり	平成30年12月愛媛県	874	0.10%
②	ニート人数 (15～34歳)	愛媛県の平成29年就業構造基本調査によるデータ	6,400	2.70%
③	ニート人数 (15～34歳)	全国データ	598,800	2.30%
④	人口	令和2年国勢調査	1,334,841	
⑤	10～69歳人口	令和2年国勢調査	866,939	
⑥	15～34歳人口	令和2年国勢調査	215,936	

①：874人は、県内確認されたひきこもり人数1000人から70歳以上および年齢不明人数126人を除外

①の人口比率：①/⑤

②の人口比率：愛媛県発表、平成29年就業構造基本調査によるデータからの引用

■ 特定非営利活動法人 e ワーク愛媛（西条市就労準備支援事業運営団体）について

当法人は、2003年12月の任意団体活動開始以降、ひきこもりやニートなど困難を抱える若者の自立支援（相談支援、アウトリーチ、居場所づくり、就労体験・見学・中間的就労の受入企業の開拓等）事業を実施しています。

また、被支援者中44%の若者の背景に生活困窮があることがわかり、2012年11月より被支援者の側面的支援および、社会体験の場創出の両面を目的としてフードバンク事業を開始し、生活困窮の若者や生活困窮世帯に食料支援を行っています。ひきこもり・ニートの原因ともなる幼少期の困窮支援や地域交流の推進などを図るために、2019年8月、こども食堂を開始しました。

一方、2016年4月より、生活困窮者・被保護者就労準備支援事業を愛媛県から受託し、県内3町を担当地域として、就労支援に至らない方を対象として、宿泊型・通所型の生活訓練等、就労訓練・就労支援を受ける段階に進むことができるよう伴走型の支援を行ってきました。

これら事業を進める中、2020年の新型コロナウイルス禍の拡大にともない、これまで以上に困難を抱える若者やシングルマザー世帯が増加していることがわかり、相談施設の追加設置や出張相談会の開催等により対応してきました。また、食料を必要としている方が無料で食料を選んで持ち帰ることができる無料フードマーケット事業として「コミュニティパントリー」事業も開始しました。

今回、西条市就労準備支援センターの事業は、上記のようなこれまでの経験と知識をもとに、西条市内で自立した生活に困難を抱える方たちの支援を行っていきます。



若者ごと塾の入塾式の様子

■ 法人概要

- 運営団体名 特定非営利活動法人 e ワーク愛媛
- 所在地
 - 西条就労準備支援センター
 - 〒793-0041 西条市神拝甲 324-2 西条市総合福祉センター 1 階
 - 連絡先 TEL 0897-47-6277 FAX 0897-47-6278
 - E-Mail eworksehime2003@gmail.com（西条就労準備支援センター用）
 - 本部事務局
 - 〒792-0050 新居浜市萩生 1309-1
 - 連絡先 TEL 0897-47-4307 FAX 0897-40-6648
 - eworksehime@gmail.com（本部用）
- 代表者 難波江 任（理事長）
- 創業・設立 創業 2003年12月、法人設立 2005年11月
- 活動内容
 - 求職弱者の就労支援事業、自立支援
 - 相談支援、アウトリーチ、宿泊型自立支援、通所型自立支援、キャリアカウンセリング、職業訓練、他
 - フードバンク事業
 - 「えひめフードバンク愛媛」事業として、思いやり食料（食べることができるのに捨てられている食料）を食品ロス削減、生活困窮者支援、食育活動、環境改善などに活用
 - こども食堂事業
 - フードバンク事業とこども食堂との連携、こども食堂運営
 - 地域再生事業
 - えひめの食遺産活動（郷土料理・ご当地料理活用による地域おこし）、買い物弱者支援、人材育成（各種講座企画・開催、職員教育など）、イベントの企画・運営 他
- 役職員・会員数 11名（非常勤含む）、会員数 31（個人・団体）
- Web ページ URL <https://eworksehime.kojyuro.com/>
- SNS ページ URL e ワーク愛媛 <https://www.facebook.com/eworksehime>
- えひめフードバンク愛媛 <https://www.facebook.com/ehime.foodbank.egao>

沿革

2003年12月	任意団体として困難を抱える若年の自立支援開始
2005年11月	法人設立
2007年6月	「若者自立塾」(厚生労働省/合宿型自立支援)コンソーシアム受託
2009年10月	「平成21年度 若者自立支援事業」受託(新居浜市)
2011年11月	「2011 えひめの高校生ご当地グルメ甲子園」主催 ※1
2012年4月	「平成24年度 就労困難者支援事業」受託(新居浜市)
	「にいほまに羊蹄丸がやってきた！」イベント企画・運営 ※2
11月	フードバンク事業開始(現・えひめフードバンク愛顔)
2014年8月	「平成26年度 就職・自立促進講習」(愛媛労働局委託)
2016年4月	生活困窮者就労準備支援事業(愛媛県委託)開始により北宇和事務所開設(鬼北町)
2018年2月	「第52回 南海放送賞受賞」
2019年8月	えひめフードバンク愛顔 南予事務局(宇和島市)開設 ども食堂ここね(宇和島市)開始
2020年8月	ども食堂来んかい屋(新居浜市)開始
2020年12月	えひめフードバンク愛顔 中予事務局(松山市/教会ども食堂連携)開設 コミュニティパントリー事業開始(新居浜市)
2021年4月	東予事務所開設(西条市) 常設型フードドライブ開始(松山市、新居浜市、宇和島市) ※3
2022年1月	「第9回食品産業もったいない大賞」農林水産大臣賞 受賞 (主催:食品等流通合理化促進機構)
6月	生活困窮者就労準備支援事業(愛媛県委託)開始により内子事務所開設(内子町)
10月	「令和4年度 食品ロス削減推進表彰」内閣府特命担当大臣 (消費者及び食品安全)賞 受賞(主催:消費者庁)
2023年2月	「テレビ愛媛賞43」受賞(主催:テレビ愛媛/3月表彰式)
2024年4月	第2回「義農大賞」受賞(主催:松前町) 西条市就労準備支援センター開所



※1 ご当地グルメ甲子園



※2 にいはまに羊蹄丸がやってきた!



※3 常設型フードドライブ

e ワーク愛媛 WEB ページ



e ワーク愛媛 Facebook ページ



えひめフードバンク愛顔
Facebook ページ



お気軽に
ご連絡ください



<お問い合わせ先>

西条市就労準備支援センター（特定非営利活動法人 eワーク愛媛）

〒793-0041 愛媛県西条市神拝甲 324-2 西条市総合福祉センター1階

TEL：0897-47-6277 FAX：0897-47-6278

E-Mail： eworksehime2003@gmail.com